行 政 評 価 （ 継 続 事 業 ）

第3編第1章　循環型社会の仕組みを整える

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円） 17年度	18年度	19年度	20年度	主な活動指標 指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	主な成果指標 指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
1	監視・規制	地下水保全対策事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　昭和60年度 【概　要】地下水位の観測、環境保全条例に基づく地下水利用状況の把握、適正な地下水利用の指導等を行う。 【対象者】事業者 【具体的な活動内容】 ・地下水位の観測（市内4か所の観測井戸及び3か所の一般井戸） ・地下水利用状況の把握	市単	[概算コスト] 3,498 （内訳） ・決算額 1,800 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 3,535 （内訳） ・決算額 1,837 ・人件費 1,698 （0.40人）	[概算コスト] 2,307 （内訳） ・決算額 567 ・人件費 1,740 （0.40人）	[概算コスト] 2,644 （内訳） ・予算額 926 ・人件費 1,718 （0.40人）	地下水位の観測井戸数 （単位：箇所）	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7	水位低下がみられない井戸数 （単位：箇所）	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 7	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 地盤沈下や地下水障害を未然に防止するため、地下水位を把握し指導等を行うことは必要である。
2	監視・規制	大気汚染常時監視設備整備事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　昭和47年度 【概　要】大気汚染防止法に基づく大気汚染状況の常時監視を行うため測定機器等の更新を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・市内8箇所の局の測定機器等について、大気汚染の常時監視に支障をきたさぬよう計画的に更新を行う。	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 4,647 （内訳） ・決算額 4,095 ・人件費 552 （0.13人）	[概算コスト] 2,865 （内訳） ・決算額 2,299 ・人件費 566 （0.13人）	[概算コスト] 13,142 （内訳） ・予算額 12,584 ・人件費 558 （0.13人）	更新機器等の台数 （単位：台）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	大気汚染状況の常時監視体制の充実	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 大気汚染防止法に基づく大気汚染状況の常時監視を行うため、計画的に機器を更新することは必要である。
3	内部管理	環境基本計画推進事業	環境局 環境政策課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】環境基本計画、環境配慮率先行動計画に基づく各種施策や取組を推進するため、環境政策推進会議の事務局として「進行管理」を行う。 【対象者】市職員 【具体的な活動内容】 ・環境政策推進会議の開催 ・環境基本計画年次報告書の作成、配布 ・環境配慮率先行動計画支援システムの運用	市単	[概算コスト] 5,874 （内訳） ・決算額 3,751 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 5,796 （内訳） ・決算額 3,673 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 6,324 （内訳） ・決算額 4,149 ・人件費 2,175 （0.50人）	[概算コスト] 3,745 （内訳） ・予算額 1,598 ・人件費 2,147 （0.50人）	環境政策推進会議・幹事会の開催 （単位：回）	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4	年次報告書の作成・配布 （単位：部）	[目標値] 600 [実績値] 600 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 600 [実績値] 600 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 600 [実績値] 600 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 600	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 環境負荷の少ない循環型都市づくりを総合的・計画的に進めていくために環境基本計画等を推進していくことは必要である。
4	啓発・広報	環境月間行事事業	環境局 環境政策課	○事業開始年度　昭和47年度 【概　要】国では6月5日を「環境の日」、6月1日から6月30日までの1ヶ月間を「環境月間」と定め、この期間中全国一斉に多彩な行事が行われている。本市においても、広く市民の方々に環境保全についての関心と理解を深めてもらうために、各種行事を実施する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・磯海水浴場の清掃　・環境保全パネル展 ・懸垂幕の掲示　・「環境の日」「環境月間」広報用ポスター掲出（市電・市バス）	市単	[概算コスト] 2,156 （内訳） ・決算額 882 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 2,111 （内訳） ・決算額 837 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 2,221 （内訳） ・決算額 916 ・人件費 1,305 （0.30人）	[概算コスト] 2,243 （内訳） ・予算額 955 ・人件費 1,288 （0.30人）	磯海水浴場の清掃 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	参加者数 （単位：人）	[目標値] 300 [実績値] 320 〈達成率〉 106.7%	[目標値] 300 [実績値] 雨天中止 〈達成率〉 #VALUE!	[目標値] 300 [実績値] 276 〈達成率〉 92.0%	[目標値] 300	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 市民の環境に関する関心と理解を深めるとともに環境保全活動の促進を図るため、環境月間行事を実施することは必要である。
5	その他	環境アドバイザー設置事業	環境局 環境政策課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】地球規模に拡がる環境問題に対応し、「循環と共生を基調にした環境文化都市」の実現を図るため、国際的な観点から本市環境施策に対して専門的な助言等を行う環境アドバイザーを設置する。 【対象者】全職員 【具体的な活動内容】 環境アドバイザー業務内容 ・本市の環境施策についての専門的な助言等を行う。 ・関係機関等との連携を図るための調整及び助言を行う。 ・その他市長が必要と認める業務（職員の研修等）	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 2,869 （内訳） ・決算額 1,808 ・人件費 1,061 （0.25人）	[概算コスト] 2,775 （内訳） ・決算額 1,687 ・人件費 1,088 （0.25人）	[概算コスト] 3,224 （内訳） ・予算額 2,150 ・人件費 1,074 （0.25人）	講演・会議等回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 15 [実績値] 20 〈達成率〉 133.3%	[目標値] 15 [実績値] 21 〈達成率〉 140.0%	[目標値] 15	参加人数 （単位：人）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1,500 [実績値] 1,737 〈達成率〉 115.8%	[目標値] 2,000 [実績値] 2,558 〈達成率〉 127.9%	[目標値] 1,500	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 環境アドバイザーからは、「かごしま環境未来館」に対する助言など、さまざまな面から専門性を生かした助言をいただいており必要な事業である。
6	啓発・広報	地球温暖化対策推進事業	環境局 環境政策課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】平成19年3月に温室効果ガス削減目標等を掲げた「鹿児島市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、同年7月に市民・事業者等で構成する「かごしま市地球温暖化対策地域協議会」を設立し、具体的な地球温暖化対策について検討、実践しているところである。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・地球温暖化フォーラムの開催　・地球にやさしいマイバッグキャンペーンの開催　・体験型エコドライブ講習会の開催　・地球温暖化対策に関するキャッチコピー作成	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 15,548 （内訳） ・決算額 9,180 ・人件費 6,368 （1.50人）	[概算コスト] 6,738 （内訳） ・決算額 1,518 ・人件費 5,220 （1.20人）	[概算コスト] 8,672 （内訳） ・予算額 3,090 ・人件費 5,582 （1.30人）	会議開催回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 7 [実績値] 7 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 20 [実績値] 24 〈達成率〉 120.0%	[目標値] 20	地球温暖化対策への啓発	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 地球環境問題までを視野に入れた環境への負荷の少ない循環型の都市づくりのため必要な事業である。
7	啓発・広報	太陽光発電装置整備事業	教育委員会 施設課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】市内の小中学校へ太陽光発電装置及び昇降口等に発電状況を示すパネルを設置し、児童生徒への環境教育への効果を高めるほか、市民への新エネルギー啓発を図る。 【対象者】児童生徒及び学校利用者 【具体的な活動内容】 ・太陽光発電装置及び発電状況パネルの設置 ・発電状況パネルの授業等での活用 ・設置状況　地域的なバランスを考慮して整備を行う。19年度までに小学校5校、中学校1校に設置	－	[概算コスト] 23,382 （内訳） ・決算額 23,340 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 26,613 （内訳） ・決算額 26,571 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 24,212 （内訳） ・決算額 24,168 ・人件費 44 （0.01人）	[概算コスト] 28,631 （内訳） ・予算額 28,588 ・人件費 43 （0.01人）	設置校数 （単位：校）	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2 [実績値] 2 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 2	環境教育の促進及び新エネルギーの啓発	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 環境負荷の軽減や使用電力量の削減のため、校舎等の大規模改修の際にも太陽光発電装置を導入するなど、さらに有効な手法を検討するべきである。

行 政 評 価 （ 継 続 事 業 ）

第3編第1章　循環型社会の仕組みを整える

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事業概要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度	妥当性			効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
8	助成・育成	住宅用太陽光発電導入促進事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成16年度 【概　要】住宅用太陽光発電システムを設置する市民に対して補助金を交付する。 【対象者】市内の自ら居住する住宅に発電システムを設置する人、又は市内に発電システム付の住宅を購入する人 【具体的な活動内容】 ・補助単価　45千円／kW　補助上限　3kW（135千円）	市単	[概算コスト] 66,638 （内訳） ・決算額 64,515 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 50,390 （内訳） ・決算額 48,267 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 34,249 （内訳） ・決算額 32,074 ・人件費 2,175 （0.50人）	[概算コスト] 36,866 （内訳） ・予算額 34,719 ・人件費 2,147 （0.50人）	補助の件数 （単位：件）	[目標値] 530 [実績値] 485 〈達成率〉 91.5%	[目標値] 400 [実績値] 362 〈達成率〉 90.5%	[目標値] 400 [実績値] 236 〈達成率〉 59.0%	[目標値] 250	二酸化炭素削減量 （単位：トン）	[目標値] 636 [実績値] 696 〈達成率〉 109.4%	[目標値] 480 [実績値] 513 〈達成率〉 106.9%	[目標値] 480 [実績値] 340 〈達成率〉 70.8%	[目標値] 300	△	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 地球温暖化防止に有効な手段であることから、さらなる広報の強化を検討するとともに、「地球温暖化市民・事業者協働事業」と連携し効果的に取り組むべきである。
9	許認可・検査	環境管理事業所認定事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成17年度 【概　要】事業活動による環境への負荷の低減を図るために、市が定めた「環境管理指針」に沿って適正に環境管理を実施している事業所を「環境管理事業所」として認定する。 【対象者】事業者 【具体的な活動内容】 ・環境管理事業所の認定 ・認定に係る現地審査の一部を業者へ委託 ・認定事業所数　352事業所（平成20年3月末現在）	市単	[概算コスト] 2,576 （内訳） ・決算額 411 ・人件費 2,165 （0.51人）	[概算コスト] 2,494 （内訳） ・決算額 329 ・人件費 2,165 （0.51人）	[概算コスト] 3,865 （内訳） ・決算額 2,342 ・人件費 1,523 （0.35人）	[概算コスト] 4,010 （内訳） ・予算額 2,507 ・人件費 1,503 （0.35人）	新規認定申請事業所数 （単位：件）	[目標値] 90 [実績値] 136 〈達成率〉 151.1%	[目標値] 90 [実績値] 87 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 90 [実績値] 152 〈達成率〉 168.9%	[目標値] 90	認定事業所数 （単位：件）	[目標値] 85 [実績値] 131 〈達成率〉 154.1%	[目標値] 85 [実績値] 82 〈達成率〉 96.5%	[目標値] 85 [実績値] 146 〈達成率〉 171.8%	[目標値] 85	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 目標値以上の事業所数を認定しており、事業活動による環境への負荷の低減を図るために必要な事業である。
10	助成・育成	低公害車普及促進対策補助事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】事業者への低公害車普及を促進するため、購入に係る経費の一部を助成する。 【対象者】運送事業者 【具体的な活動内容】 ・補助対象車種：車両総重量2.5トン超の天然ガストラック及び車両総重量3.5トン超のハイブリッドトラック ・助成額：車両毎に県トラック協会が事業者に助成する額の1/2又は10万円のいずれか低い額	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 906 （内訳） ・決算額 312 ・人件費 594 （0.14人）	[概算コスト] 937 （内訳） ・決算額 328 ・人件費 609 （0.14人）	[概算コスト] 2,601 （内訳） ・予算額 2,000 ・人件費 601 （0.14人）	補助対象台数 （単位：台）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 20 [実績値] 4 〈達成率〉 20.0%	[目標値] 20 [実績値] 7 〈達成率〉 35.0%	[目標値] 20	事業者への低公害車の普及促進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	○	◎	◎	○	○	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 地球温暖化防止及び大気汚染防止を図るため、事業者における低公害車の普及促進を図ることは必要である。
11	啓発・広報	エコライフファミリー事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】一般家庭に電気・ガス・水道使用量の節減などを通して二酸化炭素の排出削減を実践してもらい取り組みが優秀であった家族には表彰等を行う。 【対象者】市民 【具体的な活動内容】 ・チャレンジ部門：電気・ガス・水道使用量を二酸化炭素排出量に換算した値で、前年比8%削減を目標に4ヶ月間取り組む。 ・ステップアップ部門（平成19年度～）：チャレンジ部門終了家族が、各家族で目標を立てて更に1年間省エネ生活に取り組む。	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 0 ・人件費 0 （0.00人）	[概算コスト] 1,457 （内訳） ・決算額 693 ・人件費 764 （0.18人）	[概算コスト] 1,683 （内訳） ・決算額 900 ・人件費 783 （0.18人）	[概算コスト] 1,802 （内訳） ・予算額 1,029 ・人件費 773 （0.18人）	参加申込家族数 （単位：家族）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 100 [実績値] 78 〈達成率〉 78.0%	[目標値] 153 [実績値] 111 〈達成率〉 72.5%	[目標値] 133	取組結果報告家族数 （単位：家族）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 78 [実績値] 53 〈達成率〉 67.9%	[目標値] 111 [実績値] 65 〈達成率〉 58.6%	[目標値] 128	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 地球温暖化についての意識啓発を図るために必要な事業であるが、参加家族が少ないことから、効果的な広報に努めるべきである。
12	啓発・広報	学校版環境ISO認定事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成17年度 【概　要】平成17年度に策定した学校版環境ISO認定制度に基づき、環境保全や資源の有効利用、環境負荷の低減など、環境にやさしい学校づくりに取り組む学校を認定する。 【対象者】児童・生徒、教職員等 【具体的な活動内容】 ・認定申込受付、審査、認定証交付 ・認定校の継続審査 ・各学校の取り組みを紹介する冊子の作成、配布	市単	[概算コスト] 1,977 （内訳） ・決算額 534 ・人件費 1,443 （0.34人）	[概算コスト] 1,802 （内訳） ・決算額 359 ・人件費 1,443 （0.34人）	[概算コスト] 1,805 （内訳） ・決算額 326 ・人件費 1,479 （0.34人）	[概算コスト] 2,228 （内訳） ・予算額 768 ・人件費 1,460 （0.34人）	認定学校数（平成18年度～） （単位：校）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 39 [実績値] 25 〈達成率〉 64.1%	[目標値] 46 [実績値] 29 〈達成率〉 63.0%	[目標値] 63	環境にやさしい学校づくりの推進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	△	○	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 子どもたちの環境教育、環境保全意識高揚には有効な事業であり、市立高等学校など広く参加を呼びかけることを検討するべきである。
13	啓発・広報	かごしま環境未来館広報事業	環境局 環境協働課	○事業開始年度　平成19年度 【概　要】 かごしま環境未来館の利用促進を図るため、館の目的や事業内容のポスターやパンフレットを作成し、広報・周知に努める。開館後は、館の事業や市民活動状況などを広報するための「環境未来館だより」を発行し、配布する。 【対象者】 一般市民 【具体的な活動内容】 ・ポスター、パンフレットの配布 ・「環境未来館だより」の配布 ・新聞、テレビへの広報	国補助	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 768 （内訳） ・決算額 333 ・人件費 435 （0.10人）	[概算コスト] 14,328 （内訳） ・予算額 10,034 ・人件費 4,294 （1.00人）	パンフレット等や環境未来館だより配布回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 5	未来館の広報の充実	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） かごしま環境未来館の利用促進を図るため、同館の目的や事業内容を広報・周知することは必要である。
14	市民参画	環境パートナーシップ推進事業	環境局 環境協働課	○事業開始年度　平成18年度 【概　要】市民・事業者・行政が、協働して環境保全活動に取り組む「環境パートナーシップかごしま（通称：エコパかごしま）」の活動の促進、充実を図る。また、市民等の環境学習活動を支援するために専門的なアドバイス等を行う「環境学習活動支援相談員」を配置する。 【対象者】市民、市民団体、事業者等 【具体的な活動内容】 ・環境パートナーシップ推進のための研修会の開催 ・エコパかごしま活動への参加 ・環境学習活動支援相談員の設置（20年度～）	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 1,274 （内訳） ・決算額 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 3,858 （内訳） ・決算額 886 ・人件費 2,972 （0.70人）	[概算コスト] 6,241 （内訳） ・予算額 4,309 ・人件費 1,932 （0.45人）	会員数 （単位：人）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 100 [実績値] 216 〈達成率〉 216.0%	[目標値] 240	市民等と連携・協力した環境への取組みの促進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	◎	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	A	A	**現状のまま継続** （理由） 環境保全活動を促進するため、市民等と協力・連携し、環境学習や環境保全活動に取り組むことは必要である。

行 政 評 価 （ 継 続 事 業 ）

第3編第1章　循環型社会の仕組みを整える

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事　業　概　要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度	妥当性			効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
15	啓発・広報	低公害車導入計画推進事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】「鹿児島市環境基本計画」に基づく率先行動として、本市公用車及び市営バスを可能な限り低公害車に切り替えるとともに、民間への低公害車の普及促進を図る。 【対象者】市及び市民 【具体的な活動内容】 ・公用車等の買い替え時に低公害車を計画的に導入する。 ・低公害車に係る駐車場の使用料減免措置 ・民間への普及啓発用のリーフレット作成（発行部数　2500部／年配布場所　学校、公民館、ディーラー等）　など	市単	[概算コスト] 1,809 （内訳） ・決算額 196 ・人件費 1,613 （0.38人）	[概算コスト] 1,798 （内訳） ・決算額 185 ・人件費 1,613 （0.38人）	[概算コスト] 1,857 （内訳） ・決算額 204 ・人件費 1,653 （0.38人）	[概算コスト] 1,888 （内訳） ・予算額 256 ・人件費 1,632 （0.38人）	低公害車の導入台数（バスを除く） （単位：台）	[目標値] 23 [実績値] 25 <達成率> 108.7%	[目標値] 32 [実績値] 36 <達成率> 112.5%	[目標値] 35 [実績値] 39 <達成率> 111.4%	[目標値] 40	低公害車の普及促進	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	○	◎	◎	◎	○	○	○	△	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 民間への低公害車のさらなる普及促進を図るため、効果的な広報に努めるべきである。
16	内部管理	環境監査事業	環境局 環境保全課	○事業開始年度　平成13年度 【概　要】市役所の事務・事業にともなう環境負荷を可能な限り低減するために策定された環境配慮率先行動計画に基づき、施策の適正な進行管理に資することを目的とした内部環境監査を実施する。 【対象者】市職員 【具体的な活動内容】 ・内部環境監査の実施 ・フォローアップ監査の実施 ・監査実施報告書の作成 ・内部環境監査員の養成・研修の実施	市単	[概算コスト] 2,047 （内訳） ・決算額 1,071 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 2,183 （内訳） ・決算額 1,207 ・人件費 976 （0.23人）	[概算コスト] 2,208 （内訳） ・決算額 1,207 ・人件費 1,001 （0.23人）	[概算コスト] 2,232 （内訳） ・予算額 1,244 ・人件費 988 （0.23人）	監査実施課数 （単位：課）	[目標値] 26 [実績値] 26 <達成率> 100.0%	[目標値] 38 [実績値] 38 <達成率> 100.0%	[目標値] 40 [実績値] 40 <達成率> 100.0%	[目標値] 40	監査結果適合課の数 （単位：課）	[目標値] 26 [実績値] 16 <達成率> 61.5%	[目標値] 38 [実績値] 30 <達成率> 78.9%	[目標値] 40 [実績値] 37 <達成率> 92.5%	[目標値] 40	○	◎	◎	◎	△	◎	○	○	◎	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 率先行動計画開始から8年が経過し、内部環境監査の手法については、十分周知が図られているところである。21年度からの率先行動計画に合わせ、内部監査の委託内容を見直すなど、コスト縮減に努める必要がある。
17	啓発・広報	ごみの減量化・資源化広報啓発事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　昭和58年度 【概　要】ごみの発生抑制、再使用、再生利用へ取り組むため、「ごみの減量化・資源化」の意識啓発を行うとともに、ごみ出しマナーの向上についても啓発を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・ごみ減量街頭キャンペーン ・市政出前トークの実施 ・ごみ出しカレンダー、ストッピーのごみ教室の作成・配布	市単	[概算コスト] 14,879 （内訳） ・決算額 8,511 ・人件費 6,368 （1.50人）	[概算コスト] 13,255 （内訳） ・決算額 7,354 ・人件費 5,901 （1.39人）	[概算コスト] 15,839 （内訳） ・決算額 9,879 ・人件費 5,960 （1.37人）	[概算コスト] 19,554 （内訳） ・予算額 14,229 ・人件費 5,325 （1.24人）	ごみ出しカレンダーの作成部数 （単位：部）	[目標値] 328,000 [実績値] 328,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 333,000 [実績値] 333,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 348,000 [実績値] 348,000 <達成率> 100.0%	[目標値] 345,000	市民1人1日当たりごみ量 （単位：g）	[目標値] 743 [実績値] 724 <達成率> 97.4%	[目標値] 723 [実績値] 706 <達成率> 97.6%	[目標値] 710 [実績値] 686 <達成率> 96.7%	[目標値] 684	○	○	○	○	○	○	○	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 広報活動やエコバッグ作成などについては、「3R推進事業」と一部重複していることから、環境局における広報事業の体系化を図り、コスト縮減に努める必要がある。
18	市民サービス	資源化推進事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　昭和61年度 【概　要】古紙類、電球・蛍光灯、乾電池を分別収集し、処理することにより資源化を推進する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・古紙類の収集、分別、売却 ・乾電池の収集、処理 ・蛍光灯の処理委託 ・ごみ・資源物の組成調査	市単	[概算コスト] 88,656 （内訳） ・決算額 86,321 ・人件費 2,335 （0.55人）	[概算コスト] 85,406 （内訳） ・決算額 83,199 ・人件費 2,207 （0.52人）	[概算コスト] 86,922 （内訳） ・決算額 84,703 ・人件費 2,219 （0.51人）	[概算コスト] 87,916 （内訳） ・予算額 85,941 ・人件費 1,975 （0.46人）	資源物（古紙類、電球・蛍光灯、乾電池）収集量 （単位：t）	[目標値] 16,000 [実績値] 16,417 <達成率> 102.6%	[目標値] 13,500 [実績値] 13,225 <達成率> 98.0%	[目標値] 13,500 [実績値] 11,075 <達成率> 82.0%	[目標値] 13,500	資源化処理実績（古紙類、電球・蛍光灯、乾電池） （単位：t）	[目標値] 16,000 [実績値] 16,405 <達成率> 102.5%	[目標値] 13,500 [実績値] 13,214 <達成率> 97.9%	[目標値] 13,500 [実績値] 11,059 <達成率> 81.9%	[目標値] 13,500	○	○	◎	◎	○	◎	○	○	○	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） ごみの減量化・資源化を推進するため、古紙類、蛍光灯・乾電池の分別収集及び再資源化を図ることは必要である。
19	助成・育成	ごみステーション整備費補助金	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　平成17年度 【概　要】町内会等が実施するごみステーションの整備に要する経費に対して補助金を交付する。 【対象者】町内会やその他の団体等 【具体的な活動内容】 ・ボックス型ごみステーションの整備に要する経費への補助 ・補助額　整備に要する経費の2分の1以内で限度額5万円	市単	[概算コスト] 1,791 （内訳） ・決算額 942 ・人件費 849 （0.20人）	[概算コスト] 2,241 （内訳） ・決算額 1,434 ・人件費 807 （0.19人）	[概算コスト] 3,191 （内訳） ・決算額 2,408 ・人件費 783 （0.18人）	[概算コスト] 2,230 （内訳） ・予算額 1,500 ・人件費 730 （0.17人）	ボックス型ごみステーション補助件数 （単位：件）	[目標値] 20 [実績値] 24 <達成率> 120.0%	[目標値] 25 [実績値] 36 <達成率> 144.0%	[目標値] 35 [実績値] 58 <達成率> 165.7%	[目標値] 30	快適な生活環境の保全	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	○	○	◎	○	◎	◎	○	○	○	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 周辺の安全衛生、美化の向上を図るため、町内会等が実施するごみステーションの整備に補助することは必要である。
20	施設維持・管理	ごみ収集車等整備事業	環境局 清掃事務所	○事業開始年度　昭和24年度 【概　要】老朽化したごみ収集車の買い替え 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 安全かつ効率的なごみ収集をとどこおりなく行うため、老朽化したごみ収集車を買い替えるものである。 また、買い替えにあたっては、可能な限り「低公害車導入計画」に基づき導入を図るものとする。 小型車：LPガス車 中型車：低排出ガス車	市単	[概算コスト] 26,335 （内訳） ・決算額 26,293 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 58,471 （内訳） ・決算額 58,429 ・人件費 42 （0.01人）	[概算コスト] 28,161 （内訳） ・決算額 28,117 ・人件費 44 （0.01人）	[概算コスト] 63,524 （内訳） ・予算額 63,481 ・人件費 43 （0.01人）	買替台数 （単位：台）	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 9 [実績値] 9 <達成率> 100.0%	[目標値] 4 [実績値] 4 <達成率> 100.0%	[目標値] 8	安全かつ効率的なごみ収集	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値] [実績値] <達成率>	[目標値]	○	○	◎	◎	△	◎	○	○	○	－	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） ごみ収集を滞りなく行うため必要な事業であるが、車体に市の広告を掲載するなど広報媒体として有効に活用する手段を検討するべきである。
21	助成・育成	生ごみの減量化・資源化推進事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　平成元年度 【概　要】家庭の生ごみの減量化・資源化を図るため、生ごみ処理機器を購入・設置した市民に対し、補助金を交付する。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・生ごみ処理機器を購入・設置した市民に対する補助 ・補助額　電気式…購入金額の2分の1で限度額が2万5千円 その他…購入金額の2分の1で限度額が3千円 ・段ボール式生ごみ堆肥化モニター募集（平成20年度）	市単	[概算コスト] 11,134 （内訳） ・決算額 9,860 ・人件費 1,274 （0.30人）	[概算コスト] 8,448 （内訳） ・決算額 7,259 ・人件費 1,189 （0.28人）	[概算コスト] 6,912 （内訳） ・決算額 5,694 ・人件費 1,218 （0.28人）	[概算コスト] 12,952 （内訳） ・予算額 11,535 ・人件費 1,417 （0.33人）	生ごみ処理機補助基数 （単位：基）	[目標値] 500 [実績値] 554 <達成率> 110.8%	[目標値] 500 [実績値] 445 <達成率> 89.0%	[目標値] 450 [実績値] 394 <達成率> 87.6%	[目標値] 400	市民1人1日当たりごみ量 （単位：g）	[目標値] 743 [実績値] 724 <達成率> 97.4%	[目標値] 723 [実績値] 706 <達成率> 97.6%	[目標値] 710 [実績値] 686 <達成率> 96.6%	[目標値] 684	○	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） 家庭における生ごみの減量化・資源化を支援するため、生ごみ処理機の設置に対し補助を行うことは必要である。

行 政 評 価 （ 継 続 事 業 ）

第3編第1章　循環型社会の仕組みを整える

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事　業　概　要	財源	概算コスト（単位：千円） 17年度	18年度	19年度	20年度	主な活動指標 指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	主な成果指標 指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	達成度 指標の達成状況	指標の目標水準	妥当性 事業の必要性	市の関与	効率性 事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	有効性 成果向上への見直し	施策効果	公平性 受益者負担の見直し	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
22	啓発・広報	3R推進事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　平成17年度 【概　要】資源循環型社会の構築に向けて、ごみの減量化・資源化をより一層推進することが求められていることから、大量生産、大量消費、大量廃棄の社会構造から循環型社会へ転換するために、3R（リデュース・リユース・リサイクル）の意識向上と実践活動の推進を図る。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】・マイバッグ運動キャンペーン　・3R探検隊（参加体験型バスツアー）　・3R推進ガイドブック作成、のぼり旗・懸垂幕製作　・市電・市バスポスター掲示、市バス車体広告	市単	[概算コスト] 7,074 （内訳） ・決算額 5,588 ・人件費 1,486 （0.35人）	[概算コスト] 4,933 （内訳） ・決算額 3,532 ・人件費 1,401 （0.33人）	[概算コスト] 6,478 （内訳） ・決算額 4,868 ・人件費 1,610 （0.37人）	[概算コスト] 4,198 （内訳） ・予算額 3,124 ・人件費 1,074 （0.25人）	3R探検隊申込者数 （単位：人）	[目標値] [実績値] ー 〈達成率〉	[目標値] 88 [実績値] 90 〈達成率〉 102.3%	[目標値] 88 [実績値] 106 〈達成率〉 120.5%	[目標値] 88	市民1人1日当たりごみ量 （単位：g）	[目標値] 743 [実績値] 724 〈達成率〉 97.4%	[目標値] 723 [実績値] 706 〈達成率〉 97.6%	[目標値] 710 [実績値] 686 〈達成率〉 96.7%	[目標値] 684	○	○	○	○	○	○	△	○	○	ー	A	Ba	**事業手段の見直し（手段の改善等）** （理由） 広報活動やエコバッグ作成などについては、「ごみの減量化・資源化広報啓発事業」と一部重複していることから、環境局における広報事業の体系化を図り、コスト縮減に努める必要がある。
23	助成・育成	資源物回収活動の活性化推進事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　平成元年度 【概　要】町内会、あいご会、小中学校PTA等の市民団体が実施する資源物回収活動に対して補助金を交付し、ごみの減量化・資源化を促進する。 【対象者】町内会、あいご会等の市民団体 【具体的な活動内容】 ・市民団体が実施する資源物回収活動に対する補助金の交付 ・補助額 回収量に対して　古紙類6円／kg、　古繊維3円／kg、 金属類3円／kg、　空きびん類3円／本 実施回数に対して　（実施回数－1）×3千円　上限1万5千円	市単	[概算コスト] 29,053 （内訳） ・決算額 26,930 ・人件費 2,123 （0.50人）	[概算コスト] 28,474 （内訳） ・決算額 26,479 ・人件費 1,995 （0.47人）	[概算コスト] 27,023 （内訳） ・決算額 25,022 ・人件費 2,001 （0.46人）	[概算コスト] 28,541 （内訳） ・予算額 26,738 ・人件費 1,803 （0.42人）	実施団体数 （単位：団体）	[目標値] 330 [実績値] 322 〈達成率〉 97.6%	[目標値] 330 [実績値] 323 〈達成率〉 97.9%	[目標値] 330 [実績値] 329 〈達成率〉 99.7%	[目標値] 330	回収量 （単位：トン）	[目標値] 4,200 [実績値] 4,299 〈達成率〉 102.4%	[目標値] 4,200 [実績値] 4,201 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 4,200 [実績値] 3,900 〈達成率〉 92.9%	[目標値] 4,200	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○	○	A	A	**現状のまま継続** （理由） ごみの減量化・資源化を促進するとともに地域の連携を深めるため、資源物回収活動に対して補助を行うことは必要である。
24	監視・規制	事業所ごみ対策事業	環境局 リサイクル推進課	○事業開始年度　平成11年度 【概　要】事業所ごみの減量化・資源化を促進し、排出者責任と自己処理原則の徹底を図る。 【対象者】事業者、一般廃棄物収集運搬許可業者 【具体的な活動内容】 ・事業所ごみの処理施設への搬入状況の検査 ・契約状況報告書の提出 ・減量計画書の作成指導 ・不適正処理の調査、指導	市単	[概算コスト] 12,908 （内訳） ・決算額 2,932 ・人件費 9,976 （2.35人）	[概算コスト] 10,847 （内訳） ・決算額 2,569 ・人件費 8,278 （1.95人）	[概算コスト] 12,323 （内訳） ・決算額 3,884 ・人件費 8,439 （1.94人）	[概算コスト] 10,453 （内訳） ・予算額 2,981 ・人件費 7,472 （1.74人）	検査車両台数 （単位：台）	[目標値] 900 [実績値] 893 〈達成率〉 99.2%	[目標値] 900 [実績値] 481 〈達成率〉 53.4%	[目標値] 900 [実績値] 957 〈達成率〉 106.3%	[目標値] 900	検査における適正値割合 （単位：%）	[目標値] 100 [実績値] 87 〈達成率〉 87.5%	[目標値] 100 [実績値] 89 〈達成率〉 88.6%	[目標値] 100 [実績値] 90 〈達成率〉 90.5%	[目標値] 100	○	◎	○	◎	○	◎	○	○	◎	ー	A	A	**現状のまま継続** （理由） 事業所ごみの適正な処理及び減量化・資源化を図るため、事業者等に対して指導することは必要である。
25	施設維持・管理	北部清掃工場施設整備事業	環境局 北部清掃工場	○事業開始年度　昭和53年度 【概　要】安定した焼却処理及び発電を行うため、計画的かつ効率的な施設整備を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・ボイラー等の法定検査に向けての整備 ・年次計画に従った、定期的な焼却施設の整備（18～20年度は部分的実施） ・既存施設（用水設備）の老朽化による機能低下部分の整備	市単	[概算コスト] 188,173 （内訳） ・決算額 182,018 ・人件費 6,155 （1.45人）	[概算コスト] 11,472 （内訳） ・決算額 8,925 ・人件費 2,547 （0.60人）	[概算コスト] 11,378 （内訳） ・決算額 7,071 ・人件費 4,307 （0.99人）	[概算コスト] 65,209 （内訳） ・予算額 60,400 ・人件費 4,809 （1.12人）	オーバーホール工事回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	延べ運転日数 （単位：日）	[目標値] 729 [実績値] 744 〈達成率〉 102.1%	[目標値] 472 [実績値] 472 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 436 [実績値] 439 〈達成率〉 100.7%	[目標値] 436	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	A	A	**現状のまま継続** （理由） 安全かつ効率的なごみ処理及び発電を行うため、計画的かつ効率的な施設整備を行うことは必要である。
26	その他	北部清掃工場地元還元施設建設事業	環境局 北部清掃工場	○事業開始年度　平成19年度 【概　要】新工場建設に伴う地元同意取得に対する地元要望である還元施設を建設する。 【対象者】犬迫町住民 【具体的な活動内容】 還元施設の建設（簡易水道の整備）	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 207,912 （内訳） ・決算額 205,302 ・人件費 2,610 （0.60人）	[概算コスト] 5,835 （内訳） ・予算額 4,117 ・人件費 1,718 （0.40人）	工事件数 （単位：件）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 6 [実績値] 5 〈達成率〉 83.3%	[目標値] 1	周辺住民の生活環境及び福祉の向上並びに環境行政に対する理解促進	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値]	○	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	F	F	**終了** （理由） 地元要望による整備が完了することに伴い終了する。
27	施設維持・管理	南部清掃工場施設整備事業	環境局 南部清掃工場	○事業開始年度　平成6年度 【概　要】安定した焼却処理及び発電を行うため、計画的かつ効率的な施設整備を行う。 【対象者】一般市民 【具体的な活動内容】 ・ボイラー等の法定検査に向けての整備 ・年次計画に従った、定期的な焼却施設の整備 ・分散型制御システム整備工事（19～20年度）	市単	[概算コスト] 195,282 （内訳） ・決算額 190,103 ・人件費 5,179 （1.22人）	[概算コスト] 234,561 （内訳） ・決算額 229,425 ・人件費 5,136 （1.21人）	[概算コスト] 344,837 （内訳） ・決算額 337,050 ・人件費 7,787 （1.79人）	[概算コスト] 377,729 （内訳） ・予算額 370,000 ・人件費 7,729 （1.80人）	オーバーホール工事回数 （単位：回）	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	延べ運転日数 （単位：日）	[目標値] 606 [実績値] 613 〈達成率〉 101.2%	[目標値] 606 [実績値] 607 〈達成率〉 100.2%	[目標値] 608 [実績値] 606 〈達成率〉 99.7%	[目標値] 606	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	A	A	**現状のまま継続** （理由） 安全かつ効率的なごみ処理及び発電を行うため、計画的かつ効率的な施設整備を行うことは必要である。
28	監視・規制	廃棄物監視指導員設置事業	環境局 環境指導課	○事業開始年度　平成7年度 【概　要】廃棄物監視指導員4名を委嘱し、不法投棄や野外焼却が行われやすい場所を中心に監視パトロールを行い、早期発見と早期対処や産業廃棄物処理施設及び自動車リサイクル法の関係事業所への立入りによる指導等を行い、不適正処理の未然防止を図る。 【具体的な活動内容】 ・市内の廃棄物の不法投棄多発箇所（重点監視区域：35箇所）の定期的な監視パトロール ・事業所、処理施設に対する立入調査等 ・廃棄物不法投棄等に係る調査及び苦情処理、報告書作成	ー	[概算コスト] 8,162 （内訳） ・決算額 7,653 ・人件費 509 （0.12人）	[概算コスト] 10,197 （内訳） ・決算額 9,475 ・人件費 722 （0.17人）	[概算コスト] 9,810 （内訳） ・決算額 9,157 ・人件費 653 （0.15人）	[概算コスト] 10,376 （内訳） ・予算額 9,732 ・人件費 644 （0.15人）	監視指導員巡視日数 （単位：日）	[目標値] 351 [実績値] 351 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 359 [実績値] 359 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 360 [実績値] 360 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 358	不適正処理是正件数 （単位：件）	[目標値] 75 [実績値] 38 〈達成率〉 50.7%	[目標値] 279 [実績値] 181 〈達成率〉 64.9%	[目標値] 378 [実績値] 292 〈達成率〉 77.2%	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	ー	A	A	**現状のまま継続** （理由） 廃棄物の不適正処理の未然防止のため、市内全域を定期的に監視パトロールすることは必要である。

行 政 評 価 （ 継 続 事 業 ）

第3編第1章　循環型社会の仕組みを整える

No.	事業区分	事務事業名	事業実施課	事　業　概　要	財源	概算コスト（単位：千円）				主な活動指標					主な成果指標					達成度	妥当性		効率性			有効性		公平性	一次評価結果	二次評価結果	評価理由
						17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標名	17年度	18年度	19年度	20年度	指標の達成状況	指標の目標水準	事業の必要性	市の関与	事業手法	事業の統合	コスト縮減の工夫	成果向上への見直し	施策効果	受益者負担の見直し			
29	監視・規制	産業廃棄物適正処理指導事業	環境局 環境指導課	○事業開始年度　平成10年度 【概　要】職員等による産業廃棄物処理施設や自動車リサイクル法に係る事業所等への立入り調査や指導等を行うとともに、廃棄物の不法投棄、施設の無許可設置等の監視を行い、不適正処理防止に努める。 【具体的な活動内容】 ・産業廃棄物処理施設等各施設への立入り調査 ・産業廃棄物管理票交付等状況報告書等の徴収 ・鹿児島県警察本部との連携 ・最終処分場、焼却施設の設置許可申請に対し、専門的知識を有する者の意見を聴くための専門家会議（委員：6名）の設置	－	[概算コスト] 19,283 （内訳） ・決算額 1,539 ・人件費 17,744 （4.18人）	[概算コスト] 19,530 （内訳） ・決算額 1,022 ・人件費 18,508 （4.36人）	[概算コスト] 19,934 （内訳） ・決算額 1,011 ・人件費 18,923 （4.35人）	[概算コスト] 21,195 （内訳） ・予算額 2,516 ・人件費 18,679 （4.35人）	産業廃棄物処理施設等への立入り調査等件数 （単位：件）	[目標値] 58 [実績値] 58 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 76 [実績値] 76 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 54 [実績値] 54 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 70	立入り調査等における指導後の改善件数 （単位：件）	[目標値] 36 [実績値] 36 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 55 [実績値] 55 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 41 [実績値] 41 〈達成率〉 100.0%	[目標値]	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 産業廃棄物の適正処理を促進するため、処理業者等に対する立ち入り調査や報告書徴収を行うことは必要である。
30	監視・規制	産業廃棄物処理施設排出水水質監視事業	環境局 環境指導課	○事業開始年度　平成7年度 【概　要】産業廃棄物処理施設等（最終処分場）からの排出水の水質を定期的に監視・検査し、水質汚濁があった場合には、当該施設の管理者にその原因を究明させるとともに、施設の適切な維持管理に必要な指導を行う。 【対象者】市内にある安定型最終処分場等計13箇所を検査 【具体的な活動内容】 ・検査実施時期（第1回目：6月、第2回目：11月） ・検査内容（健康項目（23項目）：年1回、一般項目（17項目）：年2回）	－	[概算コスト] 1,492 （内訳） ・決算額 1,407 ・人件費 85 （0.02人）	[概算コスト] 1,123 （内訳） ・決算額 996 ・人件費 127 （0.03人）	[概算コスト] 961 （内訳） ・決算額 830 ・人件費 131 （0.03人）	[概算コスト] 1,429 （内訳） ・予算額 1,300 ・人件費 129 （0.03人）	検査箇所数 （単位：箇所）	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13	水質検査基準達成箇所数 （単位：箇所）	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13 [実績値] 13 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 13	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	－	A	A	**現状のまま継続** （理由） 国の通知に基づき産業廃棄物処理施設等からの排出水の水質を検査するもので、施設の適切な維持管理を図るために必要な事業である。
31	啓発・広報	廃棄物適正処理啓発事業	環境局 環境指導課	○事業開始年度　平成19年度 【概　要】廃棄物の適正処理に関する啓発を目的とした、親子による清掃体験等を通じて、本市における廃棄物処理等の現状を発信するとともに、行政と市民・事業者が協働して廃棄物の適正処理に向けた取り組みを図る。 【対象者】市民及び事業者 【具体的な活動内容】 ・親子ボランティアごみ撤去作業等及び産業廃棄物処理施設見学会の開催 ・廃棄物の適正処理に関する啓発用リーフレットの配布	市単	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 0 （内訳） ・決算額 ・人件費 0	[概算コスト] 1,311 （内訳） ・決算額 180 ・人件費 1,131 （0.26人）	[概算コスト] 1,409 （内訳） ・予算額 293 ・人件費 1,116 （0.26人）	夏休み親子監視パトロール体験実施回数 （単位：回）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 1 [実績値] 1 〈達成率〉 100.0%	[目標値] 1	参加人員 （単位：人）	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] [実績値] 〈達成率〉	[目標値] 200 [実績値] 52 〈達成率〉 26.0%	[目標値] 100	△	○	◎	◎	○	○	○	○	◎	○	Ba	Bb	**事業手段の見直し（事務事業の統合・廃止）** （理由） 利用者が少ないことに加え、既に清掃部で実施している3R探検隊と事業の目的、対象者、実施時期が類似していることから、3R探検隊と事業を統合すべきである。